

ピン子、
自分と向き合ってみました



泉ピン子 著

ピン子、
自分と向き合ってみました

泉ピン子 著



3、4歳の時



江口一家



いとこたちと



2番目の母と



稽古事をしていたころ



銀座のお祭り



七五三



小学校の同級生と

|| 本籍は銀座のだ真ん中 ||

私は昭和22年9月11日、東京・銀座で生まれました。父・江口鉦三郎、母・喜美代の長女で小夜が私の本名です。父の実家は「和光」の裏手にあったうなぎ屋さん。だから本籍は銀座4丁目4番地です。別にどうということもないんですけど、私が本籍を言うと、みんな「すごいね」とびっくりします。

でも、物心がついたころは、五反田の家で暮らしていました。父の2番目の奥さんの所です。「祖父」「祖母」「叔母」など家族が10人ほど暮らすにぎやかなうちで、小さいころは義母のことを本当のお母さんだと思っていました。

|| 物まねチャンピオンから歌手デビュー ||

中学時代もショックのわだかまりは消えませんでした。義母との折り合いがあまり良くなく、毎日がうつうつとした感じです。心の支えだったのが歌。ラジオの歌謡曲に夢中になって、のど自慢荒らしみたいなこともやりました。

そんな時、たまたま出たテレビの歌まね番組でチャンピオンになったんです。賞金は1万円。自分と家族に洋服などを買っても、まだお金が余りました。子供心に「これは稼げる」と思ったものです。それがきっかけでプロダクションにスカウトされて、浅草の映画館のアトラクションで歌うようになりました。そして、三門マリ子の名前をもらって歌手デビュー。北島三郎ショーの前座なんかもやりましたよ。

|| 高校中退しギター漫談 ||

日本音楽高校では、加山雄三さんの奥さんの松本めぐみさんと同級生でした。でも、義母が授業料のことに文句を言うので中退。義母がやっていたおでん屋でアルバイトをしていました。父との関係でコメディアンが多く出入りし、みんなが私のことを「面白い」と言うんです。そしたら、芸能プロの社長が「漫談家にならないか」。家を出たかったので飛びつきました。

牧伸二に弟子入りしてギター漫談でデビュー。演芸場とキャバレー回りの生活が始まりました。

芸名「泉ピン子」は父の命名です。泉は泉姓の芸人に売れた人がいないというジンクスへの挑戦。ピン子はピンキリのピンで、「カタカナの方がモダンで年寄り子供にも親しまれやすい」とってことでした。



デビュー前



キャバレー回り時代

|| 多くを学んだキャバレー回り ||

ひもじい日々もありましたが、演芸の師匠たちなど多くの人にかわいがってもらいました。思い出すのはストリッパーのお姉さんたち。正月の船橋で劇場横のキャバレーに出たら、お姉さんたちに「あんたかわいそうだね。若いのに正月からこんな大きな荷物かかえてねえ」なんて言われて戸惑いました。ストリッパーと芸人とどっちが幸せ……。この時代、人間の深いところがしっかり学べたように思います。

出会った瞬間 「この人と結婚する」

プライベートでは、41歳の時に結婚し、本名が江口小夜から武本小夜になりました。主人は医師で、出会ったのは、自分が白血病じゃないかと疑って、かかった病院。彼が病室に入ってきた瞬間、「この人と結婚する」と思ったんです。タイプじゃないのに、インスピレーションだったんでしょうね。白血病は私の勘違いでした。

結婚して約30年。いろんなことがありました。夫に愛人と隠し子がいると週刊誌報道で知った時は、ショックなんてもんじゃないかったですよ。でも、私にも仕事ばかりで夫をほったらかしにした負い目はあったし、最後は「子供のいる人と再婚したと思えばいい」と割り切って、胸が楽になりました。救いは彼の気持ちです。この間もテレビで私について、「生まれ変わっても、また一緒になりたい」って話していました。私の方はそんなつもり、これっぽっちもないですけどね。



結婚記念写真



ケーキカット



マチュピチュで



愛犬たち



|| 2020年9月30日までは ||

振り返ってみると、あっという間の人生でした。波乱も少しはありましたが、お金は十分稼げたし、それを残さず使えたし、これまでしてきたことに全く悔いはありません。何かと考えるのは自分の身じまいのこと。何かあった時、周りに迷惑をかけないようにしておきたいと思っています。それで、演劇やドラマでもらった賞をこの前、そっくり全部捨てたんです。賞状やトロフィーをゴミに出して処分しました。

今は、少なくとも2020年9月30日までは生きてなきゃというのが課題です。東京五輪・パラリンピック大会組織委員会の顧問・聖火リレー検討委員をしていて、その契約がそれまでなんです。どういう風に自分なりに大会に関わることができるのか。何かできることがあったら、パラリンピックのお手伝いをしたいと思っています。



年号 (西暦) 年齢

おもな出来事

歴史的出来事

記念日の新聞

昭和

22年 (1947)

東京・銀座で誕生 ————— 日本国憲法施行

29年 (1954) 6歳

品川区立第二日野小学校入学※

35年 (1960) 12歳

区立日野中学校入学※ ————— カラーテレビ放送
が始まる



歌舞伎座復興
新歌舞伎座の落成式 (1950年)

13歳

テレビの「歌まね読本」でチャンピオンに

37年 (1962) 15歳

三門マリ子の名で歌手デビュー

38年 (1963) 15歳

日本音楽高校入学 ————— ケネディ米大統領暗殺

39年 (1964)

————— 東京五輪開催

40年 (1965) 17歳

大阪の叔母宅へ家出し中退

41年 (1966) 18歳

牧伸二の弟子として漫談家に ————— ビートルズ来日

42年 (1967) 19歳

東急文化寄席でデビュー ————— ツイギー来日、ミニ
スカーブーム



浅草・仲見世通り
(1955年)

50年 (1975) 28歳

「ウィークエンダー」で大ブレイク ————— 「およげ! たいやき
くん」ヒット

55年 (1980) 33歳

「手ごろな女」でドラマ初主演

56年 (1981) 34歳

大河ドラマ「おんな太閤記」出演

58年 (1983) 36歳

連続テレビ小説「おしん」の母親役を熱演 ————— 東京ディズニーランド
開園



有楽町映画街
(1962年)

平成

元年 (1989) 41歳

武本憲重と結婚

2年 (1990) 43歳

「渡る世間は鬼ばかり」がスタート

7年 (1995) 48歳

夫に愛人・隠し子騒動 ————— 阪神・淡路大震災

11年 (1999) 52歳

元所属事務所と金銭トラブル

22年 (2010) 62歳

熱海に転居 ————— 小惑星探査機「はやぶさ」が帰還

23年 (2011)

————— 東日本大震災

28年 (2016) 69歳

2020年東京五輪・パラリンピック大会組織委顧問に

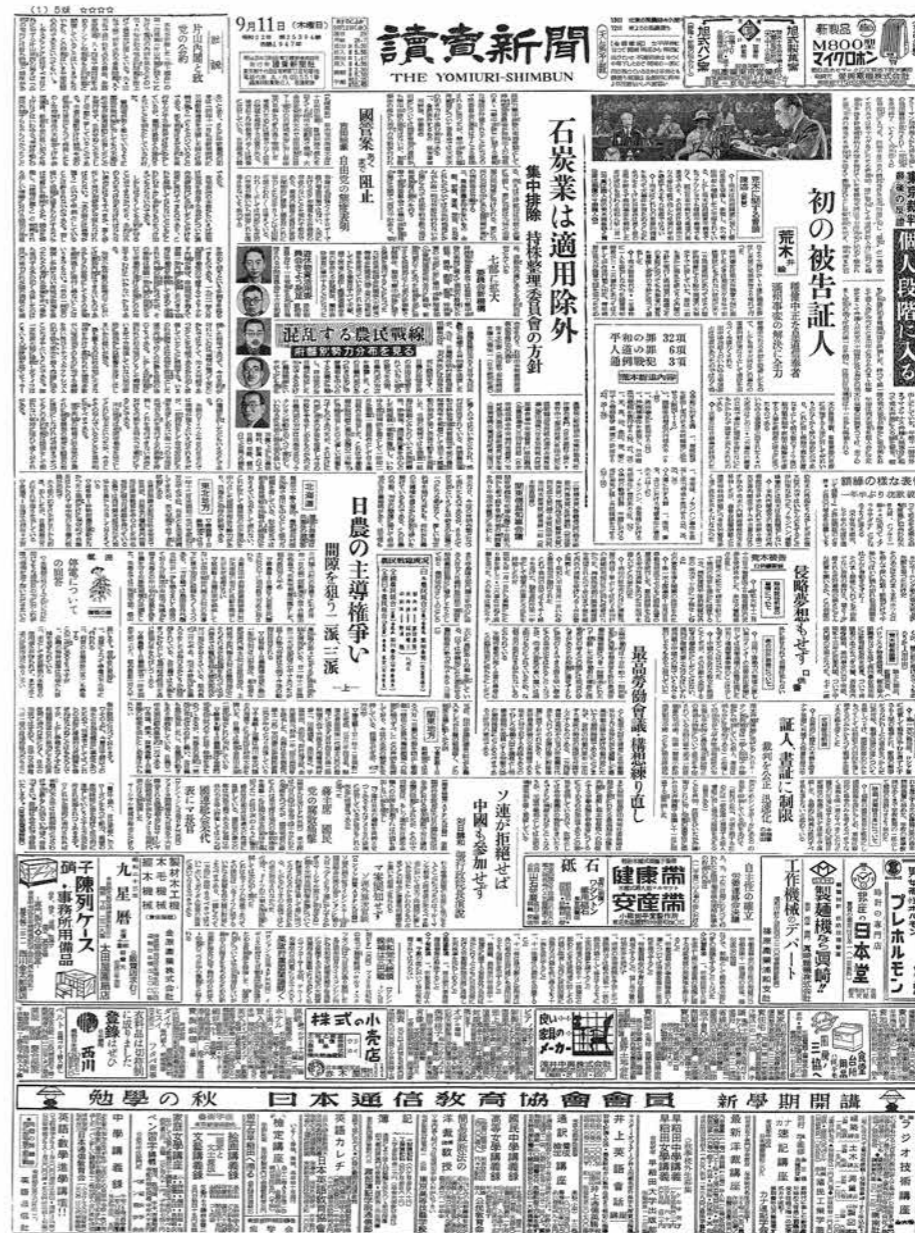
30年 (2018) 70歳

平昌五輪の聖火リレーに参加



トイレトーパー騒動
(1973年)

※品川区立第二日野小学校と区立日野中学校は、2016年に
小中一貫の区立日野学園(義務教育学校)となった



誕生日、昭和22年9月11日の読売新聞紙面

提供：読売新聞社

ピン子、自分と向き合ってみました

発行日 2018年2月13日

著者 泉ピン子

発行 読売新聞社

編集 読売プラス メディア編集本部

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町36-2 14F

電話 03-6743-2850

制作 私の絵本カンパニー

〒010-0951

秋田県秋田市山王2丁目6-25

©2018 読売新聞社



読売新聞 × 私の絵本[®]